



クニマッスン
出生地 忍野村
山梨県水産技術センター
□癖 でまっすん..



『今日は、富士講の「御師（おし）」についての話でまっすん。江戸時代、富士講

は、「江戸は広くて八百八町、講は多くて八百八講、江戸に旗本八万騎、江戸に講中八万人」と言われるほど、爆発的な興

隆を見せたでまっすん。関東・中部を始め、東北や近畿、中国地方など全国に広がったでまっすん。各地に浅間神社が祀られ、また、富士塚が築かれるようになったでまっすん。『そうなんじゃ。講とは、講社という言い方もあるようじゃが、神仏に詣でたりする信仰者の集まりを言うんじゃよ。』

ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは案内責任者)

無尽講など相互扶助団体の名称に転用され、「講」という名称で呼ばれる対象は多岐に渡っておるんじゃ。さて、庶民に広がった富士講は、講中の代表者が皆の祈願を託され、富士山頂を目指したんじゃ。その道中各所に宿坊が出てくると、江戸をはじめ関八州（関東）からの拠点として、富士山北口（吉田口）に「御師」が出てきたんじゃ。御師は、宿舎の提供だけでなく、教義の指導や祈祷、各種取次業務を行うなど、富士信仰の全般に亘って世話をする存在となったんじゃよ。シーズンオフになると江戸を中心に「講社まわり」に精を出したんじゃ。隆盛を見た富士講とそれにかかわる御師は、廃仏稀釈や文明開化とともに、徐々に衰退の一途をたどったんじゃよ。しかし、現在も浅間神社や富士塚では、毎年7月1日の開山に合わせて祭りが行われているところも多いんじゃ。日本人にとって富士山がどれほど愛されているか分かるのう・・・』

『講左衛門さん、「富士塚」について詳しく教えてほしいでまっすん。』

『そうじゃな。昔、富士山は女人禁制だったんじゃ。富士山に登れなかった女性や、長旅が困難な富士山に登りたくても登れない人々がミニチュアの富士山を作ったんじゃよ。それが富士塚じゃ。クニマッスンは富士山に登るための作法があることを知っておるかのう。富士塚は、高さ数mのミニ富士山じゃが、一合目から頂上まで富士山をそっくり真似て作ってあるんじゃよ。まるで富士山に登るように、作法をしながら富士登山をしたんじゃよ。』

『とても興味深いはなしでまっすん。全国に富士塚はどのくらいあるでまっすん？けれども、話を聞けば聞くほど、一般的に言う「富士講」と「大我講」は異なっているでまっすん。残念なことは、大我講については、富士講のように多くの資料が残っていないので、比較することができないことだでまっすん。』

『そうじゃな。今回は、「富士塚」について話をしようかのう。富士塚は各地にあるんじゃ。どこに、どのような富士塚があるのか紹介しようと思っておるぞ』